

図書案内

2018年 10月号

担当 2-3H 森 2-4H 嶋田

特集 自然と科学

勉強や部活に忙しく、あまり時間が無いであろう中部生。そんな皆さんに、今回は「自然と科学」をテーマに、写真集や写真・イラストが多めの比較的読みやすい本を紹介します。「図書館は文字だらけの本ばかりだ」という概念から離れ、気軽に自然と科学に触れ合うことができる本を選びました。ぜひ手にとってみてください。図書館にて貸出中です。



『宇宙から見た地球』 ニコラス・チータム／著

題名の通りこの本では「大地・水・大気・火」をテーマとした宇宙から撮影した地球の写真がたくさん掲載されています。僕が特に気に入ったのは、大気をテーマとした雲の写真。自然の偉大さを感じることができます。また、掲載された写真には説明と場所が記されているので、地理の学習にもつながるかもしれませんね。勉強の息抜きにでも、この幻想的な世界へいらしてください。

「はやぶさ2」のミッションとは？

『はやぶさ2の探査ロボットが小惑星「リュウグウ」に着陸』そんなニュースが耳に入ってきました。そこで今回は、はやぶさ2についての情報をお知らせします。

まずははやぶさ2のミッションの目的についてです。はやぶさ2は、はやぶさの後継機です。前回ははやぶさは世界で初めて小惑星「ITOKAWA」の表面物質を持ち帰ることに成功しました。しかし、そこには多くのトラブルが発生しました。はやぶさ2はその経験を生かし、より確実なミッションを目指しています。そして、「ITOKAWA」とは違う小惑星を探査することで、惑星の起源だけでなく水の起源や生命の原材料をも探求するといった、理学的・工学的な調査を目的としています。

はやぶさ2から分離した探査ロボットからは撮影した「リュウグウ」の表面写真が送られてきます。興味のある人は [http://www.hayabusa2.jaxa.jp/topics/20180922/\(JAXAのHP\)](http://www.hayabusa2.jaxa.jp/topics/20180922/(JAXAのHP)) にアクセスしてください。



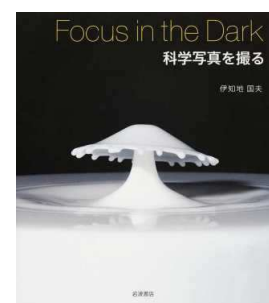
『世界の廃墟図鑑』 キーロン・コノリー／編

あなたは廃墟の写真集を見たことがありますか？ 大半の人は見たことが無いと思います。廃墟は人影もなく不気味な雰囲気を醸し出しています。しかし同時に、廃墟は美しいのです。人が去り、伸び続けた草木と残された建造物の組み合わせには何か神秘的なものを感じます。また、それぞれの廃墟になった背景を知り、もう一度写真を見ると現代へのメッセージを読み取ることができます。さあ、扉を開いて魅力的な廃墟の世界を旅しましょう。



『失敗から学ぶユーザインタフェース』 中村聡史／著

みなさんは、生活する中で様々な表示やモノを見たとき、その意味や操作方法が分かりにくいと思ったことはありませんか？ 例えばホテルのシャワー。お湯の出し方が分かりにくい！ この本は、操作に悩んだり利用方法を間違えてしまう様々な表示(バッドUI)をたくさん紹介しています。間違い探しクイズのようなものから、明らかに「コレはダメだろ～」と突っ込みたくなるものもあります。気軽に楽しみながら読める本です。



『Focus in the Dark 科学写真を撮る』 伊知地国夫／著

一流デザイナーのグラフィックか、はたまた現代アートか……。いえいえ、掲載された写真はセッケン膜やCD、氷、粘膜、ヤリイカの発光などの自然の造形美なのです！ 身近なものも、〈科学のレンズ〉を通すと意外な姿を現します。デジカメの登場をはじめとした技術革新の成せる業です。さらに、コンパクトデジカメで手軽に撮影する方法も載っています。この本を読んでぜひ試してみてください。

驚きと興奮のサイエンスマガジン『ニュートン』

本校図書館で購入しています

ページ全面に展開するイラストや美しくダイナミックな写真の数々、そして第一線の研究者に取材した正確でわかりやすいレポートが満載。数学・物理学・化学・天文学・地学・生物学・植物学・動物学・医学。自然科学分野を網羅した雑誌です。理系の人だけでなく文系の人にもおすすめの雑誌です。

